

漁海況情報

平成 29 年 11 月 1 日 第 13 号 (通巻 614 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【ヨコワ（クロマグロ幼魚）の漁況予報】

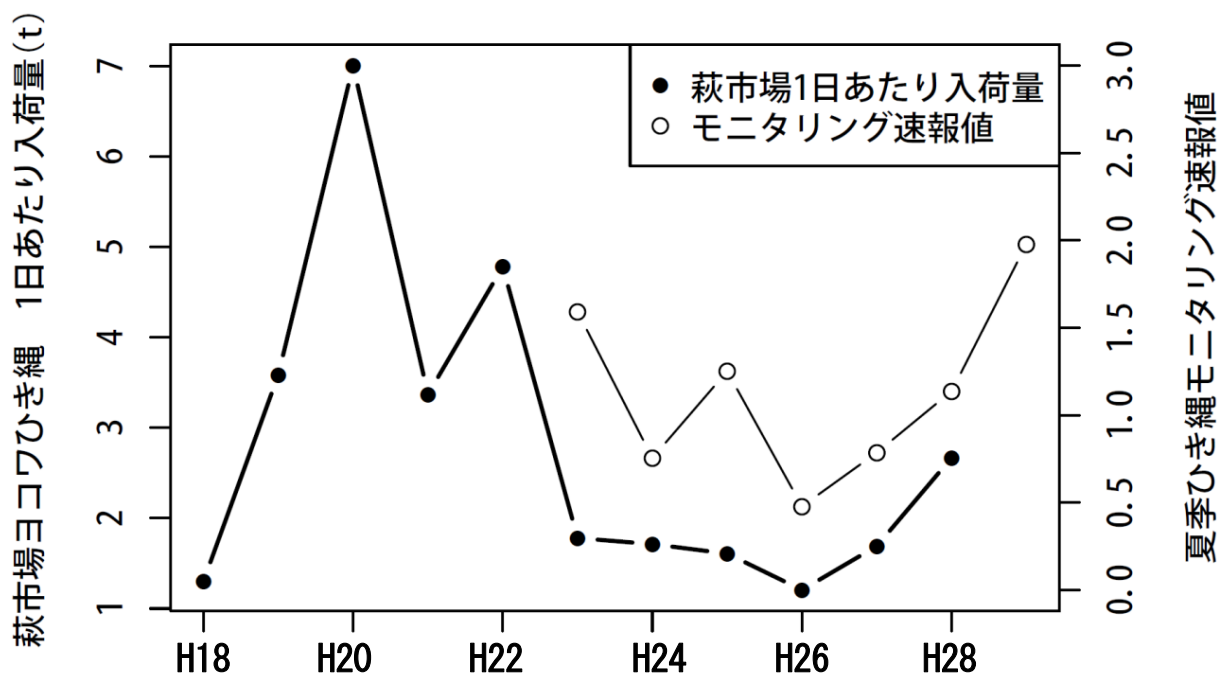
山口県日本海への、今期（11 月～翌年 2 月）のヨコワ来遊量は昨期を上回るでしょう。

【予報の根拠】

太平洋・九州西海域の夏季ヨコワひき縄の漁獲状況から計算されるモニタリング速報値*1 は、平成 23 年以降で最高水準となりました。このモニタリング速報値と萩市場におけるヨコワひき縄の 1 日あたり入荷量は、概ね同様の傾向で推移しています。

また、島根県隠岐における秋季の養殖種苗用のヨコワ漁獲についても、今期は昨期を上回るペースで漁獲されたとの情報を得ております。

これらのことから、今期のヨコワ来遊量は昨期を上回ると考えられます。



萩市場のヨコワひき縄 1 日あたり入荷量とモニタリング速報値の推移

【予報の考え方】

山口県日本海におけるヨコワ漁では、その年の初夏に南西諸島周辺で生まれた稚魚が日本海に入って成長した群と、その年の夏に日本海で生まれた稚魚が成長した群が混ざったものを主に漁獲していると考えられます。

山口県よりも早い時期に漁獲される他海域でのヨコワの漁獲時期と漁獲サイズの関係から、太平洋や九州西岸で夏季に養殖種苗用として漁獲されるヨコワの漁獲量は、南西諸島周辺生まれ群の来遊量の指標になると考えられます。また、島根県隠岐で秋季に養殖種苗用として漁獲されるヨコワの漁獲量は、日本海生まれ群の指標になると考えられます。

- *1 2017年10月20日付 (国研)水産研究機構国際水産研究所プレスリリース「太平洋クロマグロ2017年生まれ加入量モニタリング速報(第1報2017年10月)」
- *2 今回の予報に用いたデータの一部は、水産庁委託事業：国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業によって得られました。